



リハビリテーション科医師（平成29年7月現在）

責任者：専門医・指導医 原 寛美（京大S54卒） 桔梗ヶ原病院副院長 高次脳機能リハビリテーションセンター長
非常勤：専門医 武田克彦（東大S53卒） 文京認知神経科学研究所所長 第40回日本高次脳機能障害学会学術総会会長

病床数：159床（一般病床45、回復期リハ病床52、地域包括ケア病床4、医療療養病床58）

理学療法士43名 作業療法士20名 言語聴覚士19名



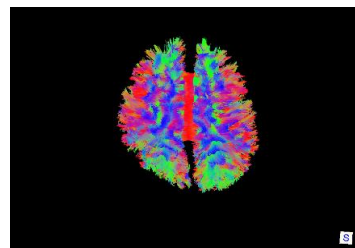
責任者からのコメント

医療現場において今日ほどリハビリテーション医療の専門医が求められている時代はありません。リハビリテーション科専門医が新専門医制度発足のなかにおいて、19基本診療科の一つに位置づけられたことは、臨床現場におけるニーズの反映と言えます。

急性期～回復期～生活期リハビリテーションを俯瞰した診療が可能なりハビリテーション専門医が求められており、そのための研修ができる知識と研修が提供できると考えています。

研修病院としての特徴

- 一般病床45床、回復期リハビリテーション病棟52床（回復期リハビリテーション病棟入院料1）、地域包括ケア病床4床、医療療養型病床58床、老人保健施設2カ所（176床）を有しています。そのために急性期から回復期、生活期までを俯瞰したリハビリテーションの研修が可能です。訪問リハビリテーションなど在宅生活を支えるシステムを備えており、在宅復帰のためのリハビリテーションを進めています。関連施設として、学校法人松樹学院にはPTの養成専門学校（信州リハビリテーション専門学校）を有し、コ・メディカルの教育にも重点をおいています。
- 急性期病院との連携により信州大学病院などの松本医療圏から、さらに隣接の諏訪・上伊那医療圏の急性期病院からの紹介を受けており、回復期リハビリテーション医療の重要な役割も担っています。回復期リハビリテーションの研修を重点に学ぶことができます。
- 一般病床（10：1看護）を有しており、ボツリヌス治療（投与治療実績：平成28年313件、平成29年1月～6月：187件）+集中リハビリテーション、経頭蓋磁気刺激TMS+集中リハビリテーションを入院にて実施しており、先進の脳卒中リハの研修が可能です。
- 武田克彦先生（第40回 日本高次脳機能障害学会 学術総会 会長）による毎月回診・カンファレンスを設けており、高次脳機能障害リハビリテーションを専門的に学ぶことができます。
- 高次脳機能リハビリテーションセンターを設立、2015年4月からは長野県高次脳機能障害支援拠点病院となり、高次脳機能障害のリハビリテーションを入院および外来にて、復職を視野に入れてかかわることができます。支援コーディネーター2名を配置しています。
- 3テスラMRI画像診断を実施しており、高次脳機能障害臨床におけるconnectome解析を首都大学東京放射線学科との共同研究を開始しています。



最後に

リハビリテーション医療が目指すものは、患者さんの復職・就労など社会的な転帰に対するニーズをかなえていくことです。

脳卒中や頭部外傷などのリハビリテーションはこの数年間で格段に発展してきており、新しい可能性を共に創っていきましょう。

